

平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 岡本硝子株式会社
 コード番号 7746 URL <http://www.ogc-jp.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 毅
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役コーポレートサービス部長 (氏名) 阿部 裕

上場取引所 東

TEL 04-7137-3111

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・新聞記者向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	2,924	12.4	88	259.9	42		33	
29年3月期第2四半期	2,601	9.6	24	40.5	47		102	

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 45百万円 (%) 29年3月期第2四半期 103百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	1.72	
29年3月期第2四半期	5.43	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	6,489	1,455	22.4
29年3月期	6,627	1,410	21.3

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 1,455百万円 29年3月期 1,410百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,856	9.6	168	13.8	53	19.9	36	16.9	1.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	19,326,440 株	29年3月期	19,326,440 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	709 株	29年3月期	709 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	19,325,731 株	29年3月期2Q	18,949,831 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では、雇用増加を背景とした個人消費により景気の拡大を続け、ヨーロッパ地域では、ドイツなどで景気が回復しており、中国では、各種政策効果などにより景気は持ち直しをみせております。日本経済は、雇用・所得環境が改善するなかで、堅調な個人消費と公共投資により、景気は緩やかな回復基調を続けております。

プロジェクターの需要は、おおむね横ばいで推移しておりますが、前年度の熊本地震によるプロジェクター製造サプライチェーンへの影響がなくなり、当社グループのフライアイレンズへの需要は増加しました。

平成29年8月に反射鏡を生産する新潟岡本硝子株式会社のガラス溶融炉1基が定期炉修に入りましたが、それまでに成型工程までの仕掛品増産を進めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高2,924百万円(前第2四半期連結累計期間比12.4%増)、経常利益42百万円(前第2四半期連結累計期間の経常損失47百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益33百万円(前第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純損失は102百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①光学事業

当第2四半期連結累計期間の売上高は2,027百万円と前年同期と比べ167百万円(9.0%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は394百万円と前年と比べ106百万円(37.1%)の増益となりました。

プロジェクター用反射鏡は、販売数量が前年同期比で0.3%増加し、売上高は3.4%減少いたしました。フライアイレンズは、販売数量が前年同期比で20.2%増加し、売上高は25.6%増加いたしました。

②照明事業

当第2四半期連結累計期間の売上高は357百万円と前年同期と比べ63百万円(21.6%)の増収となり、セグメント損失(営業損失)は2百万円と前年と比べ81百万円の減益となりました(前第2四半期連結累計期間のセグメント利益は79百万円)。カーナビ用等特殊カバーガラスの売上高は増加いたしました。需要が漸減しているヘッドレンズ、フォグレンズは、平成28年9月でガラス溶融炉での量産を終了し、当期は備蓄在庫及びびるつぼ炉での小ロット生産で対応しているため売上原価が増加しました。

③その他

当第2四半期連結累計期間の売上高は539百万円と前年同期と比べ91百万円(20.4%)の増収となり、セグメント損失(営業損失)は68百万円と前年と比べ37百万円の増益となりました(前第2四半期連結累計期間のセグメント損失は106百万円)。洗濯機用ドアガラスとフリット(ガラス粉末)の売上高が増加いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べて137百万円減少し、6,489百万円となりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ300百万円の減少となりました。この主な要因は現金及び預金が216百万円減少し、商品及び製品が118百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ162百万円の増加となりました。この主な要因は建設仮勘定が208百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ137百万円の減少となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ127百万円の増加となりました。この主な要因は、短期借入金が102百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ311百万円の減少となりました。この主な要因は、長期借入金が319百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は183百万円の減少となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ45百万円の増加となりました。この主な要因は、利益剰余金が33百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月15日に公表いたしました平成30年3月期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	569,437	352,989
受取手形及び売掛金	1,035,294	1,048,849
商品及び製品	627,999	509,365
仕掛品	384,692	396,898
原材料及び貯蔵品	64,988	59,921
その他	56,994	71,078
貸倒引当金	△16	-
流動資産合計	2,739,392	2,439,103
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,217,301	1,171,118
機械装置及び運搬具(純額)	722,555	710,813
土地	703,014	703,014
リース資産(純額)	42,742	36,063
建設仮勘定	676,581	885,419
その他(純額)	71,559	68,308
有形固定資産合計	3,433,755	3,574,738
無形固定資産	13,696	10,526
投資その他の資産		
投資有価証券	336,405	336,386
その他	104,146	128,744
投資その他の資産合計	440,551	465,131
固定資産合計	3,888,003	4,050,395
資産合計	6,627,395	6,489,499
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	519,976	490,057
短期借入金	224,000	326,000
1年内返済予定の長期借入金	626,961	631,263
リース債務	42,496	27,397
未払法人税等	18,253	12,823
賞与引当金	41,529	42,005
未払金	222,243	281,443
その他	124,764	137,155
流動負債合計	1,820,224	1,948,145
固定負債		
長期借入金	3,115,726	2,796,312
リース債務	6,874	-
繰延税金負債	24,147	29,385
退職給付に係る負債	192,284	200,387
資産除去債務	43,453	45,073
その他	14,635	14,635
固定負債合計	3,397,122	3,085,794
負債合計	5,217,347	5,033,939
純資産の部		
株主資本		

資本金	2,095,307	2,095,307
資本剰余金	333,902	333,902
利益剰余金	△1,121,199	△1,088,006
自己株式	△421	△421
株主資本合計	1,307,589	1,340,782
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,935	54,555
為替換算調整勘定	34,965	37,190
退職給付に係る調整累計額	24,558	23,031
その他の包括利益累計額合計	102,459	114,777
純資産合計	1,410,048	1,455,560
負債純資産合計	6,627,395	6,489,499

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	2,601,640	2,924,122
売上原価	1,925,929	2,185,777
売上総利益	675,711	738,344
販売費及び一般管理費		
役員報酬	37,661	44,809
給料及び手当	189,519	177,043
退職給付費用	9,372	6,260
減価償却費	19,137	20,056
旅費及び交通費	21,264	23,937
支払手数料	33,164	46,338
運賃	40,148	46,530
賞与引当金繰入額	18,529	13,292
研究開発費	109,875	94,337
その他	172,325	176,783
販売費及び一般管理費合計	650,997	649,390
営業利益	24,713	88,954
営業外収益		
受取利息	87	28
受取配当金	2,551	4,050
助成金収入	32,145	121
業務受託料	11,486	8,313
その他	3,654	8,085
営業外収益合計	49,925	20,599
営業外費用		
支払利息	31,932	27,157
為替差損	45,930	138
シンジケートローン手数料	11,000	15,658
持分法による投資損失	29,556	20,463
その他	3,902	3,622
営業外費用合計	122,322	67,041
経常利益又は経常損失(△)	△47,683	42,511
特別利益		
固定資産圧縮額戻入益	9,483	-
特別利益合計	9,483	-
特別損失		
固定資産除却損	0	1,603
固定資産売却損	-	2,192
補助金返還損	17,669	-
希望退職関連費用	43,413	-
特別損失合計	61,083	3,795
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△99,284	38,716
法人税、住民税及び事業税	3,397	5,342
法人税等調整額	173	180
法人税等合計	3,571	5,523
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△102,855	33,192
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△102,855	33,192

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△102,855	33,192
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,159	11,620
為替換算調整勘定	△11,501	2,225
退職給付に係る調整額	12,159	△1,526
その他の包括利益合計	△501	12,318
四半期包括利益	△103,356	45,511
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△103,356	45,511

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△99,284	38,716
減価償却費	127,459	117,058
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6	△16
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,561	476
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7,704	6,575
受取利息及び受取配当金	△2,638	△4,078
支払利息	31,932	27,157
為替差損益(△は益)	△5,124	△83
持分法による投資損益(△は益)	29,556	20,463
固定資産圧縮額戻入益	△9,483	-
固定資産売却損益(△は益)	-	2,192
固定資産除却損	0	1,603
補助金返還損	17,669	-
売上債権の増減額(△は増加)	△202,146	△13,764
たな卸資産の増減額(△は増加)	△13,698	111,489
仕入債務の増減額(△は減少)	△49,931	△29,800
その他の資産の増減額(△は増加)	27,260	△32,778
その他の負債の増減額(△は減少)	△649	28,169
小計	△142,929	273,381
利息及び配当金の受取額	2,638	4,078
利息の支払額	△28,853	△27,670
法人税等の支払額	△7,758	△10,772
営業活動によるキャッシュ・フロー	△176,902	239,017
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△600	△1,200
投資有価証券の取得による支出	△3,544	△3,766
有形固定資産の取得による支出	△131,536	△213,720
無形固定資産の取得による支出	△2,946	-
貸付金の回収による収入	99	100
その他の支出	△1,602	△1,900
投資活動によるキャッシュ・フロー	△140,130	△220,487
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	102,000	102,000
長期借入れによる収入	550,000	-
長期借入金の返済による支出	△677,419	△315,112
リース債務の返済による支出	△28,502	△21,974
財務活動によるキャッシュ・フロー	△53,922	△235,086
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,694	108
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△375,650	△216,448
現金及び現金同等物の期首残高	776,671	569,437
現金及び現金同等物の四半期末残高	401,020	352,989

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	光学事業	照明事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,859,793	294,001	2,153,795	447,844	2,601,640
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,859,793	294,001	2,153,795	447,844	2,601,640
セグメント利益又は損失(△)	287,632	79,050	366,683	△106,228	260,454

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラス、フリット、紫外線照射装置に使われるエキシマランプの蒸着加工などを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	366,683
「その他」の区分の損失(△)	△106,228
全社費用(注)	△235,740
四半期連結損益計算書の営業利益	24,713

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	光学事業	照明事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,027,432	357,489	2,384,922	539,199	2,924,122
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,027,432	357,489	2,384,922	539,199	2,924,122
セグメント利益又は損失(△)	394,344	△2,318	392,025	△68,348	323,677

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラス、フリット、紫外線照射装置に使われるエキシマランプの蒸着加工などを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	392,025
「その他」の区分の損失(△)	△68,348
全社費用(注)	△234,723
四半期連結損益計算書の営業利益	88,954

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。